

景観ワークショップ

歴史的眺望を
見つめてみよう

結果概要



開催概要

日時	2009年1月31日(土) 9:00~13:00 4時間			
場所	図書館交流プラザ・リぶら1階会議室101、大樹寺現地案内			
参加者	市民8名、市職員2名、コンサルタント4名			
目的	大樹寺から岡崎城を望む歴史的眺望について、実際に視点場から眺望を体感してもらい、関心を持ち、理解を深め、考えてもらうための第一ステップとして実施する			
内容	1.大樹寺からの歴史的眺望の視覚的体験 2.景観ワークショップ (1) 他己紹介 (2) 旗上げアンケート“歴史的眺望を守るための方針の検討” (3) ビスタライン保全方策検討ワーク“具体的な方策のロールプレイング検討” (4) 検討結果の発表と振り返り			
検討 ミッション	<table border="0"><tr><td>まもる その眺望を</td><td rowspan="2">私たちの検討ミッション 眺望をさえぎる建築計画が公表されたが、話し合いにより何とか計画変更された。次は守れるという確証はない。守れる方策を提案せよ！</td></tr><tr><td>保全 しっかりと守るために</td></tr></table>	まもる その眺望を	私たちの検討ミッション 眺望をさえぎる建築計画が公表されたが、話し合いにより何とか計画変更された。次は守れるという確証はない。守れる方策を提案せよ！	保全 しっかりと守るために
まもる その眺望を	私たちの検討ミッション 眺望をさえぎる建築計画が公表されたが、話し合いにより何とか計画変更された。次は守れるという確証はない。守れる方策を提案せよ！			
保全 しっかりと守るために				

ワークショップの様子

1.大樹寺からの歴史的眺望の視覚的体験

- バスで大樹寺に移動して、実際に歴史的眺望を見て、歴史的眺望の由来や特性について体験しました。
- 三門下(視点場)、総門下から、景観構造の概略を把握しました。



2. 景観ワークショップ

(1) 他己紹介

- 参加者が二人一組になって「自己紹介」ならぬ「他己紹介」を行いました。パートナーの名前、住まいの地域、市内の好きな景観資源についてヒアリングを行い、本人の代わりに紹介しました。

(2) 旗上げアンケート“歴史的眺望を守るための方針の検討”

- 歴史的眺望を守るための方針について、下記の4点について旗上げアンケートを行いました。そして、これらについて分析しながら意見交換を行いました。

- 5票** すぐに実効性を伴う適正な制限をしていくべき。
- 5票** まずは土地所有者の理解を得る方策を考えるべき。制限は時間をかけて。
- 1票** 将来にわたって建物等に係わる制限は避けるべき。
- 1票** その他の方策あり。

(3) ビスタライン保全方策検討ワーク“具体的な方策のロールプレイング検討”

- 土地所有者の理解・協力を得ていくための具体的な方策について、2グループに分かれて付箋に書きながら意見交換を行いました。それぞれ、以下の立場になったつもりで検討しました。

- Aグループ** 一般市民（3名）、行政担当者（2名）、記者（1名）
- Bグループ** 土地所有者（4名）、建築家・専門家（2名）

(4) 検討結果の発表と振り返り

- 検討した立場の異なる2つのグループの検討結果を最後に発表し合いました。
- Aグループでは、「市民へのアピール・教育」などの意見が多く、一方のBグループでは「補助・支援の仕組みづくり」などの意見が多く挙げられました。両グループ共通の意見としては、「市民と土地所有者の意見交換」などがありました。



■ワークショップの成果

